

(第3号議案)

令和3年度事業計画(案)

令和3年度(令和3年10月から翌年9月)の我が国経済を展望してみますと、引き続き新型コロナウイルス感染拡大対策が最優先課題となるものの、「withコロナ」へ向けた取り組みが効果を発揮し始め、経済活動の回復ペースが高まってくるが見込まれます。

国際社会を見ると、経済、軍事など様々な分野において米中の対立は激しさを増し、ワクチン接種についても各国の協調体制は整わず、世界規模で見ればコロナ禍以前の経済活動の水準を取り戻す目途はついていない状況にあります。

一方、我が国の感染対策は、出遅れていたワクチン接種が急ピッチで進み、先発国との格差はなくなりつつあり、国産のワクチンや治療薬の認可へ向けた動きも加速しています。また、国民の意識は緊急事態宣言下での危機意識の希薄化が指摘されたものの、諸外国と比べて衛生意識は極めて高く、これまでの経験が経済正常化へ寄与してくると想定されます。

経済活動が早期に正常化している国々と比べると我が国の回復は遅れていますが、2020年度の法人税収は前年を上回るなど好調な業界、企業も少なくありません。感染拡大により大変な苦境に直面した飲食業や観光関連業界、自宅待機や失業を余儀なくされた雇用者、非正規雇用者やひとり親家庭、ヤングケアラーといった生活者弱者などに対する十分な補償が今後実施され、二極化していると言われる社会の格差が縮小に向かい、経済活動の正常化が加速していくことが望まれます。

さて、こうした状況の下、山梨経済同友会の令和3年度の活動を考えてみます。

山梨県では、8月に中部横断自動車道の双葉JCT以南の全線が開通しました。また、今年4月には国道138号バイパスと新東名高速の一部区間が接続し、高速道路・自動車専用道路で富士山を周遊するルートが出来上がりました。いずれも、山梨の競争力や存在感の向上につながり、山梨の新たな可能性を切り拓いてくれるものと思われます。

一方、本県では、クリーンエネルギーの推進や産業振興も視野に入れた環境問題に積極的に取り組んでいます。エネルギー分野では、究極のエネルギーと呼ばれる水素と燃料電池関連産業の集積地「やまなし水素・燃料電池バレー」の実現をめざし、農業分野では、4パーミル・イニシアチブへの取り組みを通じて脱炭素社会の実現に貢献した農産物を認証する「やまなし4パーミル・イニシアチブ農産物等認証制度」を制定したほか、本県が提案して4パーミル・イニシアチブ推進全国協議会を設立しました。こうした環境問題への積極的な取り組みは、

近年急速な広がりを見せる SDGs の活動とも連動し、持続可能な地域づくりには欠かせないものです。

また、新型コロナウイルス対策をみると、全国に先駆けて策定した「やまなしグリーン・ゾーン構想」がグリーン・ゾーン認証など実効力のある取り組みとして注目され、低い水準に感染者数を抑え込んでいます。

コロナ禍で社会の価値観が変化する中で、こうした環境問題への対応や社会から「安心・信頼」という価値を獲得することへの積極的な取り組みが、二拠点居住の推進や、観光客の復活、ワーケーションの推進など、居住人口のみならず、交流人口、関係人口の拡大に繋がり、課題である人口の維持や地域社会の存続、県内経済の再生に寄与することが期待されます。

山梨経済同友会は、活力ある山梨の創造に向けて責任ある行動を実践する経営者の組織であります。with コロナ・after コロナを見据え、地球規模で取り組むべき課題、社会から求められる新たな価値観の発信など時代の要請に積極的に応え、関係機関と手を携えて豊かな山梨の未来に向けて、活動を実践していくことが求められています。

令和 2 年度の事業は、前年同様に、新型コロナウイルス感染拡大という特別な事情の中で、予定していた活動がほぼ出来ない大変苦しい状況となり、ほとんどの計画が未消化事業となってしまいました。

このため、新年度の令和 3 年度につきましては、令和 2 年度の組織・事業計画を継続して活動していくことといたします。

その中でも中部横断自動車道に関しては、開通を山梨県全体の活性化に繋げる活動、山梨から長野、そして新潟の日本海に繋がる北部区間の早期開通に向けた活動を展開していきたいと考えています。

また、「女性活躍パートナー会議」については、他団体と連携して、これまでの活動を更に一歩進めていきたいと考えており、地元大学と連携して進めてきた「つばさを広げる会」についても、他団体との連携も視野に入れつつ、定期的な開催を軌道に乗せていきたいと思えます。

その他の事業（活動）も、with コロナ・after コロナを踏まえた活動を展開したいと思えます。

さらには、山梨経済同友会の活動全体を SDGs の概念に照らして、外部の方にも活動をより理解していただけるような取り組みを展開するとともに、公式ホームページをはじめとした、情報発信の強化を図っていきたく考えます。

以上のように令和 3 年度の事業は、前年の計画を基本として、SDGs の概念に照らして活動、情報発信を展開すると共に、事業計画にない事項についてもフレキシブルに対応していきたいと考えます。新年度もご協力の程よろしくお願ひします。

## 委員会(部会)

### ●新 DCTP 会議 水野裕央座長、横山明正幹事長 (相談役:入倉 要・長澤重俊・副代表幹事・常任幹事)

山梨県の今後にとって重要な案件やタイムリーな課題に対して、山梨県や関係機関と連携し、情報収集及び検討を重ね、各部会と協働して意見書を取りまとめ提案活動を展開する。継続事業として「やまなしグランドデザイン 2021」提言書の議論と活用、および「ICTに関する勉強会」に取り組む。

### ●山梨リニューアル委員会 (相談役:入倉 要・長澤重俊・副代表幹事)

#### □リニア部会 志村浩男部会長、小澤健太郎副部会長・小倉恵一副部会長

リニア開業に向けて、リニア新駅の周辺整備および二次交通整備等について県や大学など関係機関と連携して情報収集及び検討・議論を行い、提案(提言)活動を展開する。

#### □中部横断道部会 五領田周司部会長、依田光人副部会長・飯島禎典副部会長

中部横断道の活用推進と北部区間の計画を含め、関係機関と連携して情報収集及び提言を行う。

#### □交流人口推進部会 原田由起彦部会長・内藤英明副部会長・豊前貴子副部会長

富士山を一周する広域高速道路網の完成により、世界中から山梨県を訪れてもらえるよう、『山梨の魅力再発見・そして山梨を元気に』をテーマに研究する。また、観光PRの方法を検討する。(例; ワイン県・フルーツ王国・水の都・温泉王国・葛飾北斎・サンリオ)

### ●未来山梨創生委員会 (相談役:入倉 要・長澤重俊・副代表幹事)

#### □未来の山梨を考える部会 上原伊三男部会長、清水栄一副部会長・桐井隆行副部会長

山梨県の未来への課題に対して、県民と一緒に勉強し意見交換する場を設ける。

「女性活躍パートナー会議」を主宰し、女性活躍の推進と山梨の未来への進化を目指す。

#### □つばさを広げる部会 上原伊三男部会長、清水栄一副部会長・桐井隆行副部会長

一流の経営者を招聘し、5大学や県と連携して優秀な学生を育成する「つばさを広げる会」。

定期的を開催し、山梨県内で学ぶ若者が将来の夢を考えるきっかけとする。

#### □山梨ネットワーク部会 齊藤基樹部会長、豊田等副部会長

経済同友会のホームページを充実させると共に、情報収集&発信ツールとして進化させる。また、

5G、AI、IoT の見学会開催により生産性向上や働き方改革へ活用する。SDG s 窓口活動を行う。

#### □次世代育英部会 築田裕彦部会長、伊藤祐寛副部会長・丸茂智史副部会長・饗場紀仁副部会長

経済同友会メンバーが学校現場に出向き、次代の山梨を担う若者(中・高・大学生)に出張

授業を実施する。

#### □運営部会 齊藤勇介部会長、伴野公亮副部会長

各種会議や連携事業・イベントなどの運営を担当すると共に、会員交流事業の運営を担当し、会員拡大など内部充実をはかる。